

2025年9月19日

被保険者 各位

石原産業健康保険組合

大腸がん・子宮がん・歯周病検診 申込締切日のお知らせ

当健康保険組合では 6 月より無料がん検診(大腸・子宮)、歯周病検診を実施していますが、間もなく受付が終了となります。

申込締切 2025年 10 月 31 日(金) 必着

***採取器具返送締切日 2025年11月28日(金)必着**

検診対象者・・・満 18 歳以上の被保険者・被扶養者(2026 年 3 月 31 日現在)
大腸がんのみ 30 歳および 35 歳以上の被保険者・被扶養者

受診をご希望の方は申込書をご覧の上、はがきまたは QR コードでお申し込みください。

がんは早期発見、早期治療が大変重要です。
ぜひこの機会を利用して健康チェックにお役立てください。

注意事項

・同種の検査補助を重複して受けることはできません。

人間ドック・生活習慣病検診・市町村検診の大腸がん検診、子宮がん検診が該当

定期健康診断時に大腸がん検診を受けた方も補助対象外です

・採取器具返送締切を厳守してください

普通郵便はポスト投函から到着まで 2～4 日かかります。締切は**必着**です。

締切を過ぎた場合には費用(※)をご負担いただきます。

※採取器具返送なし:器具代 締切後の器具到着:器具代+検査代

以上

がん・歯周病検診 のお知らせ

無料

2025年



自宅で簡単・便利

検査が自宅にやってくる!

忙しくて
検診を
受けてない

採取する
タイミングが
難しい

病院に
行くのが
面倒!

という方に
おすすめです。

当健康保険組合では保健事業の一環として、**大腸がん・子宮頸がん・歯周病リスク**検診を実施いたします。
がん・歯周病の早期発見・早期治療のため、ぜひこの機会にご受診ください。

この検診は、自宅で検体を採取し、検査機関に郵送するだけの簡単な方法ですので、健康チェックにお役立てください。

子宮頸がんの
リスクが
わかります。

子宮頸がん

(細胞診・HPV同時検査)

- ・一度の検査で子宮頸がん検査(細胞診)とHPV検査ができます。
- ※妊娠中の方は申込みできません。

大腸がん

(便潜血検査)

- ・今注目のトランスフェリン同時測定

歯周病

(唾液検査)

- ・唾液を採取します。

【記】

★ 検診対象者

子宮：満18歳以上の被保険者および被扶養者
歯周病：満18歳以上の被保険者および被扶養者
大腸：満30歳および満35歳以上の被保険者および被扶養者
(年齢は2026年3月31日現在)

※被保険者で定期健康診断(事業主)と同時に大腸がん検診を受診する(した)方は対象外。

※人間ドックを受診し補助を受ける(た)場合や、市町村検診で同内容の検診を受診し補助を受ける(た)場合は対象外。

※当健康保険組合に加入されていない家族の方は対象外。

★ 検診費用

無料 ※但し、採取後の検体返送料は自己負担です。
大腸がん：110円 子宮頸がん・歯周病：140円

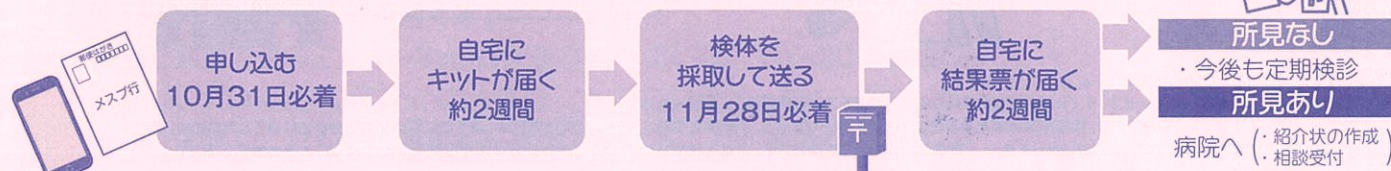


〈申込用QRコード〉

★ 申込方法

申込ハガキに必要事項を記入の上、個人情報保護シールを貼って郵送(切手不要)していただくか、右のQRコードを読みとり、専用のフォームからお申し込みください。

お申込みからの流れ



★ 検査機関

メスブ細胞検査研究所(京都府登録衛生検査所第38号) TEL(075)231-2230

★ その他

当検診を申込まれた場合、検診および精密検査の未受診の方に対して、皆様の健康を守る目的で、事業主から受診勧奨を行う場合があります。予めご了承ください。

ご注意

- ・申込をして器具を受け取られた方は必ず受診してください。
- ・11月28日までに検体の返送がない方は器具代を請求させていただきます。
(大腸がん：820円、子宮頸がん：1,290円、歯周病：1,370円 税別)

毎年の検診受診が 早期発見・早期治療につながります!!

— 日本では2人に1人が“がん”にかかります —

簡単!
自宅で採取して
ポストに入れるだけ!



大腸がん検診

早期発見・早期治療により、ほぼ治癒します!

より精度が高い検査です!
トランスフェリンを同時測定

■ 早く見つければ安心。

早期のがんは自覚症状がなく自分で気づくのはとても困難です。
年に一度受診することで早期発見につながります。

▶最新の予測

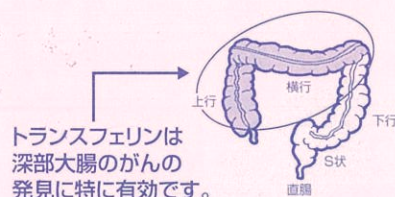
がん罹患者数 第1位

がんでの死亡原因 女性 第1位

男性 第2位

出典:国立がん研究センターがん情報サービス2024年のがん統計予測

トランスフェリンは腸内細菌や環境の変化の影響を受けにくく、ヘモグロビンに比べ安定性が高いため2つの成分を同時に測定することでより精度の高い検査となります。



トランスフェリンは
深部大腸のがんの
発見に特に有効です。

子宮頸がん検診 HPV検査

検診を定期的に受ければ予防できます。

20~30歳代
急増

■ 子宮頸がん細胞診とHPV同時検査でより安心です。

(一度の採取で2つの検査を同時に受診できます。)

細胞診

子宮腔・頸部の細胞を顕微鏡で調べます。
がん細胞や異型細胞(前がん状態)の段階を見つけてます。



細胞診:
前がん状態・がんを見つける!

HPV検査

HPV感染の有無を調べます。
子宮頸がんの原因となるハイリスク型HPV感染の有無を調べます。



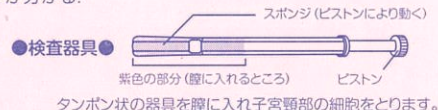
HPV検査:
がんになる原因のHPVに感染しているかどうか分かる!

子宮頸がんの
リスクが
わかる

乳がん
自己検診チェッカーつき

毎月1回、
自分で触って
チェック!

- 子宮頸がんはヒトパピローマウイルスの感染により発生。
- 女性の50%以上が一度はかかるありふれたウイルスです。



タンポン状の器具を膣に入れ子宮頸部の細胞をとります。

歯周病リスク検診

お口の中は大丈夫ですか?

■ 歯周病は歯を失う原因になるだけでなく、 様々な病気のリスクを高める全身病です!

歯周病は、進行すると歯周ポケット内の血管を通して、歯周病菌が全身に運ばれ、様々な病気を引き起こし悪化させます。

■ 出血で歯周病が悪化!?

歯磨きをしているときなどに歯茎から血が出ることはありませんか?
歯周病菌は赤血球ヘモグロビンの“ヘミン鉄”が好物です。
鉄分を得て歯周病菌は爆発的に増殖します。

簡単!

唾液を採取して
送るだけ



歯周病チェック! ☐

症状にチェックが入った方は是非検診を受けてください。

- ☐ 歯を磨くと血が出る
- ☐ 臭いがするようになった
- ☐ 口の中がネバネバする
- ☐ 歯が伸びた気がする
- ☐ 歯に物が挟まりやすくなった

この検査では、採取した唾液中の血液反応(ヘモグロビン)を測定し、歯周病の進行度合いがわかります。

結果が有所見であった方は、必ず精密検査を受けましょう。

検査機関では、受診者の方に合った病院をご紹介します。

お気軽に検査機関にお問い合わせください。

メスブ細胞検査研究所まで

お気軽にお問い合わせください

TEL 075-231-2230(平日10:00~16:00)
FAX 075-211-7400
メール mail@msh-kyoto.co.jp

受診後も
安心!!

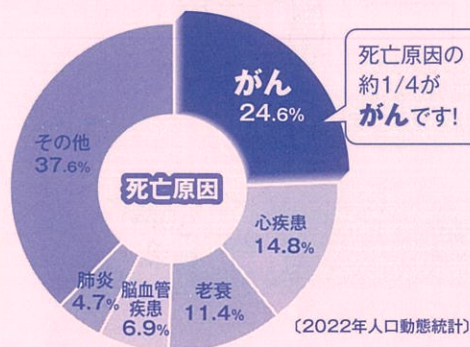
毎年必ず受けましょう!がん検診!

がんは予防できる時代です。

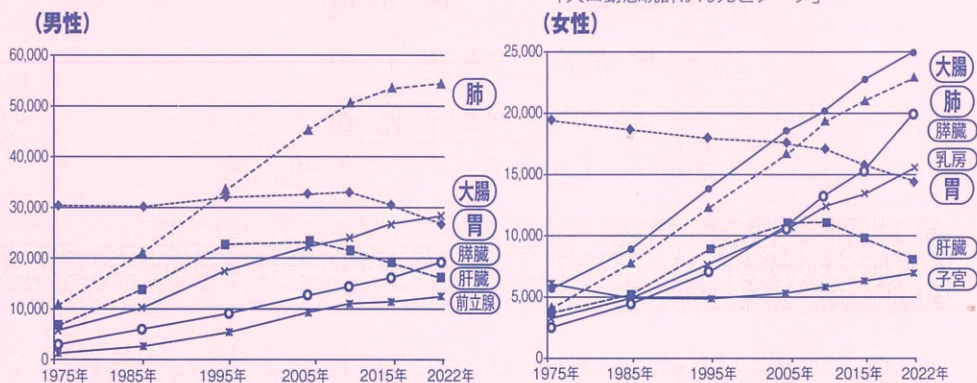
誰でもがんになる可能性があります

一生の間に2人に1人ががんになる時代ですが、
早期発見で適切な治療をすれば、健康な日々を過ごすことができます。

【主な疾病の死亡原因に占める割合】



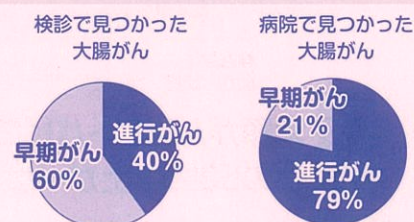
【主ながん部位別死亡者推移】



自覚症状がなくても、まず検診

早期のがんに自覚症状はありません!
がんを早期に見つけ、治療するためには、自覚症状がない時にこそ定期的に検診を受けることが大切です。

自覚症状を感じて病院で発見されたがんは79%が進行がんです。

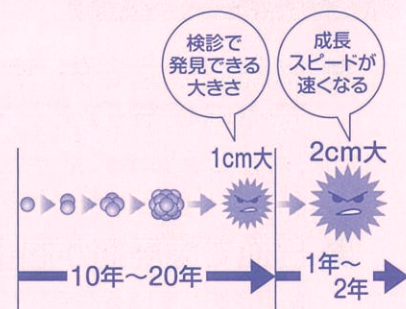


資料:厚生労働省「大腸がん集団検診の組織化に関する研究」

毎年検診を受けることが重要

がんの大きさが1~2cmくらいまでを「早期がん」といい、この段階で治療を受ければ完治も可能です。

検診で発見できるこの1~2cmの大きさになるには、10~20年かかりますが、1cmのがんが2cmの大きさになるのにはたった1~2年しかかかりません。だから、毎年がん検診を受けることが重要なのです。



結果が陽性の時は、速やかに精密検査を受けましょう

検診は「自覚症状のない人」から「がんかもしれない人」を見つけるスクリーニング検査です。がん以外の何らかの疾患が隠れていることもあります。自覚症状がないから大丈夫!と思わず、すぐに精密検査を受けましょう。

毎年必ず大腸がん検診を受けましょう！

大腸がんは

かかる人
年間155,625人
第1位

亡くなる人
年間53,088人
第2位

国立がん研究センター
がん情報サービス「がん統計」
罹患:2019年 死亡:2022年

毎年検診を受ける人は、大腸がんによる死亡率が約70%低下すると厚生労働省が発表しています。

腸内環境を整えて免疫力UP! ↑



腸は栄養素を吸収する役割の他に、自律神経や免疫細胞が集まり細菌やウイルスなどの有害なものを排除する機能を担っている重要な器官です。腸内環境を整えることで免疫機能を高めることができると言われています。

腸内環境をよくすることは、消化・吸収・排泄の正常化、免疫力の向上、腸内細菌の毒素産生を低下させ、メタボの改善、ストレス耐性を高めます。さらに、がん・アレルギー・過敏性腸症候群・便秘のリスクを低下させることにもつながります。



大腸がん検診 受診者の声より

今回初めて陽性の結果で早期のがんが見つかりました。自覚症状もなく、まさか私か、と思いましたが、早期発見ができて感謝しています。検査の大切さを家族や周りの人に伝えたいです。



60代男性

出血は“痔”のせいだと思い放置していましたが、再度の受診勧奨で受診。ポリープが見つかり、このままにしていたら“がん”になっていたかも、と言われました。検査がこわい、私もそう思っていましたでしたが、受診してよかったです。



50代女性



40代女性

検査が不安でなかなかふみきれませんでした。子供も生まれたところだったので思いきって受診。その結果、小さなポリープが見つかり切除しました。今は安心して生活しています。



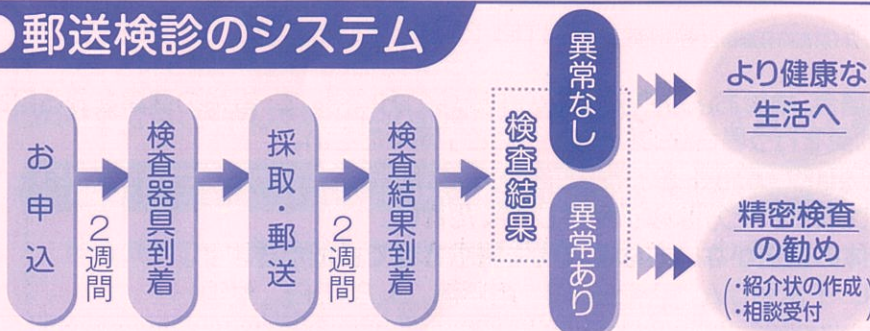
30代男性

内視鏡で、今回は異常なしでしたが、健康に関心を持つ良いきっかけになりました。年に一度の便潜血検査は必ず受けようと思います。

【注意事項】

- ・郵送検診は自覚症状のない方を対象にしています。すでに自覚症状や気になることがある方は医療機関をご受診ください。
- ・郵送検診はスクリーニング検診（一次検診）であり、検診結果は病名を診断するものではありません。「要精密・陽性」の結果が出た場合は、速やかに医療機関を受診されることをお勧めします。
- ・郵送検診の検査結果のみで病名を診断できるものではありません。「異常なし・陰性」の結果の方も、自覚症状や気になることがある方は医療機関を受診されることをお勧めします。

● 郵送検診のシステム



京都府医師会 臨床検査制度管理調査
京都府臨床検査技師会 協力施設
日本臨床衛生検査技師会

メスス 細胞検査研究所
京都府登録衛生検査所第38号

〒604-0827 京都市中京区高倉通二条下る
瓦町550 メスビル内

TEL. 075 (231) 2230

FAX. 075 (211) 7400

<https://www.msp-kyoto.co.jp>

E-mail: mail@msp-kyoto.co.jp